

第46回 中国大学バスケットボール選手権春季優勝大会

〈 大会要項 〉

1. 主催 公益財団法人日本バスケットボール協会
一般財団法人全日本大学バスケットボール連盟
中国大学バスケットボール連盟
2. 主管 一般社団法人岡山県バスケットボール協会
3. 後援 公益財団法人倉敷市スポーツ振興事業団
4. 期日・会場 5月2日(土)～6日(水)
5. 会場 水島緑地福田公園体育館
6. 競技方法

①各チームが最低3ゲーム以上の試合数を確保するため、ブロック形式のリーグ戦を採用する。各リーグ上位2チームが進出するトーナメントと、各リーグ3位以降のチームが進出するトーナメントに分け、各トーナメント戦において順位決定を行う。

②リーグ戦の順位決定方式は、勝ち：2点、負け：1点、棄権：0点とし、勝ち点制によるものとする。勝ち点の同じチームが2チーム生じた場合は、2チーム間の勝者を上位とする。また、勝ち点の同じチームが3チーム生じた場合は、3チーム間のゲームにおけるゴールアベレージにより決定する。

式) ゴールアベレージ = 総得点 ÷ 総失点

③審判については、原則として「ツーパーソン・システム」で行う。
7. 参加チーム 中国大学バスケットボール連盟登録チーム
8. シード権 昨大会ベスト8チームにシード権を与える。その他については中国大学バスケットボール連盟の責任抽選とする。
9. 大会規定
 - 1) 大会登録
 - ・大会登録並びにプログラムへの氏名の記載は原則として部長1名、監督1名、コーチ1名、アシスタントコーチ1名、トレーナー1名、学生副務1名と本連盟登録学生主務1名の7名および本連盟登録選手とする。また、部長・監督・コーチ・主務以外のスタッフの役職名は、各チームによって変更を可能とする。さらに、部長が監督を兼務している場合は1名として数える。
 - ・当日の試合のベンチに入ることのできるスタッフは7名以内(学生副務・学生マネージャーも含む)、選手は15名以内とする。コート上で練習できる選手もこの15名以内とする。
 - ・コーチライセンスのセキュリティに関わる部長・監督・コーチと、学生代表の主務は、当日エントリーでも変更を認めない。
 - ・部長・監督・コーチ・主務以外のスタッフ枠は、選手同様、試合当日エントリーにおいて変更を認める。ただし、大会エントリーされている者に限る(※選手がスタッフとしてベンチに入るなどが適応される)。
 - ・ベンチサイドに「トレーナーゾーン」を設置する。このゾーンにはビブス着用により1名の待機を認める。大会エントリーされていない者でも滞在は可能であるが、トレーナーゾーンのビブス着用者はベンチメンバーではないので、ベンチに入ることはできない。(※学生トレーナーの実習などが適応される)
 - ・2020年度1部所属チームは、JBA公認C級コーチ以上の資格保持者を1名以上大会登録すること。試合の際、ベンチで指揮する者は、登録された資格を有するコーチであること。
 - ・2020年度1部所属チームの特別措置として①受講中の場合は認める。(JBA公認D級コーチ資格保持者に限る) ②チーム就任1年目に限り可とする(①②の解釈は②でかつ①であること)

- ・2020年度2部所属チームは、JBA 公認コーチ資格を取得していることが望ましいとする。試合の際、ベンチで指揮する者は、登録された資格を有するコーチまたは無資格者のスタッフ登録したコーチであり、スコアシートにサインをする者（第1チェック者）であること。
- ・公益財団法人日本バスケットボール協会規定による外国籍選手については、大会登録での人数制限は設けられないが、競技中、コート上で同時にプレイできる外国籍選手は1名とする。（オンザコート1）
- ・日本国籍を持たなくても、「教育基本法」「学校教育法」で定める日本での小学校および中学校教育・中等教育学校の前期部分（義務教育）を修了した者は、日本人選手と同等と見なす。

2) 大会追加変更登録

- ・大会追加変更登録締切日は、4月30日木曜日（必着）とする。
- ・大会追加変更登録締切日以降は、スタッフおよび選手の変更を認めない。
- ・大会追加変更登録締切日以降の番号変更は認めない。選手一人ひとりが個人番号を有していることとする。

3) 試合当日のエントリー方法

- ・当日の試合に出場する選手およびスタッフのエントリーは、指定された用紙に必要な事項を記入し、前の試合のハーフタイム終了時まで各会場大会本部に提出すること。但し、第1試合の場合は試合開始45分前までとする。
- ・当日エントリーにおける大会登録の番号変更は一切認めない。
- ・エントリー用紙提出と同時に、ベンチを指揮するJBA公認コーチ資格を呈示すること。
- ・エントリー用紙提出後は、一切の追加・変更は認めない。

4) ユニフォーム

- ・大会登録の際、主将（キャプテン）を一番前に置く。その他の記載順については番号順とする。
- ・ユニフォームの番号は、1番から99番までと、0番または00番を使用することができる。また、07のように1桁の番号の前に0を使用することはできない。大会期間中同一番号とする。
- ・ユニフォームは、組み合わせ番号の小さいチームが淡色（白色）、大きいチームが濃色を着用することを原則とする。（但し、2回戦目からは当該大学間での話し合いにより、大会本部の了承を得た上で変更してもよい。）
- ・シャツの下にTシャツを着ることは、いかなるスタイルであっても認められない。
- ・パンツは、シャツと同様に前後同じ主となる色でデザインされたもの。
パンツの裾は膝よりも上でなければならない。
- ・ソックスは、全てのチームメンバーが同じ主となる色でデザインされたもの。
ソックスは見える状態でなければならない。
- ・以下のものは身につけても差し支えないが、同じチームの全てのプレーヤーの、腕や脚のコンプレッションスリーブ、ヘッドギア、リストバンド、ヘッドバンドは全て同じ単色でなければならない。※テーピングについては【例外規定】を参照のこと。
 - ①十分にパッドで覆われている肩、上腕、大腿部や下腿部の防具
 - ②ヘッドギア。顔の一部（目、鼻、唇等）あるいは全部を覆うものではなく、着用するプレーヤーあるいはその他のプレーヤーに危険なものであってはならない。またヘッドギアは顔や首に開閉部分を持たず、表面に突起物があってはならない。
 - ③膝の装具で、適切にカバーされているもの。
 - ④負傷した鼻のプロテクター（硬い素材でつくられたものを含む）。
 - ⑤無色透明なマウスガード
 - ⑥眼鏡で、他のプレーヤーに危険が及ばないもの。
 - ⑦リストバンドやヘッドバンドは、最大10cmの幅で、繊維素材のもの。

⑧腕や肩、脚等のテーピング

⑨足首の装具

【例外規定】腕や肩、脚等のテーピングは、コンプレッションスリーブやリストバンドと同様に、チーム内で色を統一し着用することが望ましいが、必ずしもチーム内で色を揃える必要はない。

- ・やむを得ない事情により上記を順守できない場合は、事前に本連盟に申請し（サポーター申請）、許可を得ること。

5) ベンチ

- ・ベンチは、組み合わせ番号の小さいチームがオフィシャル席に向かって右側とする。
- ・ベンチにはゲームエントリーされた選手、及び登録されたスタッフ以外は入れない。
- ・試合においては、「9.大会規定」に該当するコーチが1名以上ベンチ内にいない場合は、原則没収試合となる。また、公認コーチは試合中、**JBA 公認コーチ証を胸の前に提示すること。**
- ・不測の事態によりコーチ資格保持者が試合開始時刻に間に合わない旨を連絡で受けた場合や、緊急事態が発生したためコーチ資格保持者と連絡が取れないと推測される場合は、コーチ資格保持者が不在であっても本連盟の判断で試合を開始することができる。いずれの場合も、コーチ資格保持者が試合開始時に不在となったチームの代表者は、速やかにその理由を証明する書類を大会本部まで提出しなければならない。（所定用紙提出）
- ・上記書類を審査し、コーチ資格保持者が不在となった理由が緊急かつやむを得ないものであると認められる場合に限り、本連盟は試合の成立を認めることができる。尚、上記の案件が発生した場合、試合終了後10日以内に当該チームは本連盟宛に「大会中のコーチ資格保持者不在による報告書」を提出することとする。

6) スターティングメンバー

- ・ベンチを指揮する JBA 公認コーチ資格保持者（2部所属チームは、コーチとしてスタッフ登録をした者）が試合開始5分前までにテーブル・オフィシャルズにスターティングメンバーを報告してサインすること。

7) 試合中

- ・サインをしたコーチ（第1チェック者）のみが試合中、チームベンチエリア内で立ち続けることが可能であり、さらにタイムアウトの請求ができる。
- ・但し、2部所属チームで選手兼コーチとしてスタッフ登録をした者が選手としてコート上にいてベンチに誰もいない場合に限り、タイムアウトの請求権をベンチにいる非資格保持者に委任できる。また、2部所属チームで選手・スタッフ併せて5名の場合に限り、タイムアウトの請求をコート上の選手兼コーチから請求する事ができるが、試合開始前のサイン時に相手チームおよび審判に、その旨を報告すること。
- ・チームベンチに座ってチームベンチエリア内にとどまることができるのは、チームスタッフ、交代要員、5個のファウルを宣せられたチームメンバーだけである。競技時間中は、全ての交代要員、5個のファウルを宣せられたチームメンバー、コーチを除いたチームスタッフは**着席してはならない。**
- ・ゲーム中、コーチは、ボールがデッドになりゲームクロックが止められているときのみ、審判に礼儀正しくコミュニケーションをとることができる。

8) 棄権

- ・何らかの理由でやむを得ず棄権しなければならない場合は、必ず1日前までに本連盟の了承を得るとともに、相手チームに連絡すること。（所定用紙提出）
- ・試合開始予定時刻より、15分遅れた場合は没収試合とする。また、指定されたユニフォームが揃わない場合も、これに準ずる。
- ・ゲームを棄権しても割り当てられたテーブル・オフィシャルズやフロアワイパー係等は行うこと。
- ・無断で棄権した場合は、理事会協議により後日チームに何らかの処分を下す。

- ・チームが急な事故に遭い棄権する場合は、至急大会本部に連絡すること。尚、その処置については理事会で審議する。

9) 特別規定

- ・前大会（第45回中国大学バスケットボール選手権春季優勝大会）の順位を参考に、シード枠決定の基とする。

10. 注 意 事 項

- 1) 事前に本連盟へ公認コーチ証のコピーを提出したスタッフおよび選手はその公認コーチ証を携行すること。また、試合当日は、当日エントリー時に公認コーチ証を呈示し、コーチの場合（第1チェック者）は試合中に首から提げて指揮すること。
- 2) 公認コーチ証を忘れた場合は各会場本部にて、JBA ホームページより本人がパスワードを入力し、コーチ証を印刷できる場合にのみ、試合参加を認めることとする。印刷・発行手数料として1人500円を徴収する。
- 3) テーブル・オフィシャルズおよびフロアワイパー係等は、試合開始10分前にそれぞれ指定の場所に着くこと。尚、テーブル・オフィシャルズおよびフロアワイパー係等を怠った場合、理事会協議により何らかの処分を下す。
- 4) 選手は不測の事態に備えて必ず保険証を持参すること。
※大会中、各自でスポーツ傷害保険に加入するなど、自己責任で対処すること。試合中の事故についても大会主催者は責任を負わない。
- 5) 会場において「イン」「アウト」のシューズをはっきり区別して使用すること。
- 6) ユニフォームへの着替えは、ベンチやスタンドなど、公衆の面前では行わないこと。
- 7) 貴重品の管理は各チームで行うこと。
※自己責任で管理すること。大会主催者は一切の責任を負わない。
- 8) チーム荷物の保管については、観覧席で観戦されている方の邪魔にならないように配慮すること。
- 9) 選手は、「中国大学バスケットボール連盟規約および各細則」を厳守すること。特に選手の倫理規定を厳守し、本連盟の選手としての品格を保つこと。
- 10) 万一、不測の事故等にあった場合は速やかに当連盟・各会場大会本部に連絡すること。この場合、試合日時変更等の処置については、本連盟競技部の決定による。
- 11) 各項に於いて順守できず大会運営に支障をきたした場合は、理事会協議により何らかの処分を下す。

※その他の問題については、本連盟の判断を最終決定とし、本部役員の指示に従うこと。上記大会規約以外のルールは、「2019バスケットボール競技規則」、「(一財)全日本大学バスケットボール連盟定款・基本細則」、「中国大学バスケットボール連盟規約・細則」を適用する。また2020年4月1日に「2020バスケットボール競技規則」が施行された場合、「2020バスケットボール競技規則」を適用する。